

今金町生涯学習情報誌 いまナビ

令和二年
三月十九日

～学びの“今”をナビゲートする～ 第16号

発行日：令和2年3月19日
発行：今金町教育委員会
編集：社会教育グループ
〒049-4393
瀬棚郡今金町字今金 48 番地の 1
TEL. 0137-82-3488
FAX. 0137-82-3445

「今金町生涯学習情報誌いまナビ」は毎月の広報紙「広報いまかね」では掲載しきれない教育関係の記事をはじめ、所属団体の活動情報、教育関係委員のコラムを掲載し、町民の皆様々に教育関係事業の情報をお知らせするものです。年4回、町内全世帯向けに発行しています。どうぞご覧ください。

■ 「デジタルカメラで写真絵本づくり」が終了しました

2月9日（日）に読書と作文のまちプロジェクトチーム主催「デジタルカメラで写真絵本づくり」が今金小学校で行われました。この事業は読書と作文のまちプロジェクトチームが「インプット」と「アウトプット」の手法について学ぶ研修の一環と位置づけ、また町民が世界で1つだけの写真絵本づくりから、表現力・創造力・伝える力を養うことやふるさと今金を見つめる「眼」を培い、親子や子どもたち、地域の交流を深める機会とし、芽室町在住の写真家の小寺卓矢氏を講師に迎えて実施しました。

今回で11回目を迎えるこの事業ですが、今回は講師が撮った写真から絵本づくりを行う「かんたんコース」、自らが撮影した写真から絵本づくりを行う「チャレンジコース」の2コースに分けて実施し、計36名の参加がありました。チャレンジコースでは“冬の魅力”をテーマに参加者が自由に町内で写真撮影を行いました。

絵本づくりでは、両コースともそれぞれが見て感じたことを文章として相手に伝えるように悩みながら本を作りあげました。完成後は読み聞かせ発表会を行い、参加者からは「同じ写真を使っても作る人によって内容が違い、とても面白い。」「今度はチャレンジコースで参加したい。」等の声が多くありました。

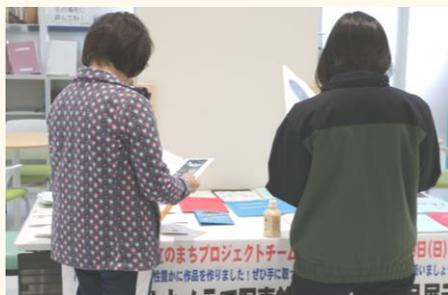
完成した作品は1週間ほど町民センター図書室・総合体育館で展示し、多くの方に手に取っていただくことができました。（樋口）



▲絵本づくりの様子



▲小寺先生による読み聞かせ



▲体育館での展示



▲チャレンジコースのみなさん



▲かんたんコースのみなさん

今後の主な行事		会場
5月9日(土)	スポーツ少年団体カテスト会・結団式	総合体育館
5月16日(土)	子ども読書の日イベント（図書室おはなし会／イマカレ）	町民センター
5月17日(日)	今金オリエンテーション（町教委主催）	町内一円

※詳細はチラシ等で随時お知らせいたします。日程変更や中止になる場合があります。

■今金町スポーツコーディネーター講演会が行われました

2月17日、今金町スポーツコーディネーターの大森健作氏による講演会が総合体育館あいきゅーぶで行われました。今回の講演会は「子どものやる気と運動神経&身体能力の高め方」をテーマに開催し、当日は教職員や少年団の指導者、父母の方々など約70名にご参加いただきました。

大森氏は講演のはじめに、運動に必要な7つの能力を活かした“コーディネーショントレーニング”について触れ、運動神経を向上させるための簡単な脳トレ（シナプソロジー）を参加者全員で実践しました。

中盤にかけて、大森氏がプロ選手として活躍される中で挫折した経験等をもとに、身近な子どもたちがそのような状況に陥ったとき、周囲の大人はどの

ような言葉をかけてあげるべきなのか、またどのような言葉が子どもたちの成長を止めてしまうのかということについて話されました。

講演の最後には現代の子どもたちにおける課題をいくつか取り上げ、答えを聞きたがる子や指示を待つ子が増加傾向にあるが、子どもたちには“自分で考える”という力を身に付けさせることが必要だと力強く話されていました。

参加者からは「子どもだけではなく大人でも通用する話だと思いました。」「気づきや謙虚さ、自由と責任の関係性など、人生訓としても大変興味深いお話でした。」などといった声がありました。来年度も様々な場面で大森氏をお招きし、運動教室等を開催いたしますので、ぜひご参加ください。（西本）

今金町スポーツコーディネーター

年間を通じて運動教室や講演会などさまざまな分野においてお力を貸していただくために委嘱しています



■えいごキッズくらすが開催されました

1月16日に総合体育館で小学校1・2年生対象の「えいごキッズくらす」を開催しました。合計18名が参加し、国際交流推進アドバイザーのテスと一緒に英語を使った遊びを楽しみました。広い武道場を活用し、普段学校で実施できない活動ができました。最初の2つは、鬼ごっこのような遊びをし、残りの時間は蛇鬼に似ている遊びとボール渡しゲームをしました。50分間ほぼ休憩なしで体を動かしながら活動をしたものの、終わりころでも子供たちは驚くほど元気いっぱいでした。まだ続けたいとの声もあちこちから聞こえましたが、時間切れで終了しました。えいごキッズくらすは単なる「遊び」ではなく、「遊びながら英語を習う」企画ですので、子供たちは充実した時間を過ごすことができました。（テス）



▲鬼ごっこ



▲英単語の確認



▲じゃんけんゲーム



「今金町は社会教育・団体活動が盛んですね、充実していますね。」と耳にすることがあります。私たちの先輩世代、昭和の時代から引き継いできた各種の団体活動に関わり永年にわたる活動を積み重ねてきた成果であり、代々の社会教育主事体制を含め事業推進・予算面での支援等これらが相まってのことと思っております。

しかし益々進行する過疎化、少子高齢化、高度な情報化、価値観の多様化等々により、団体志向から個人志向へと、各団体の担い手不足、団体の維持・事業継続の困難さが表面化してきております。旧来学校教育以外と言われていた社会教育が、学校週5日制と相前後して学社連携・融合の事業、学齢期対

象事業の増加。旧総合体育館・旧学習センターにいて町民と身近にあった「社会教育担当者」の町庁舎3階への移動。これらも団体活動弱体化の遠因のひとつかなとも感じております。

如何に社会が進展・変革しても過疎地域に住む私たちは、自然災害の多発や高齢化社会での福祉等を考えましても、個々が心豊かに生きる、人間関係を豊かにすること、地域社会での諸活動、社会教育・生涯学習の一層の充実が大切です。行政や各種団体の「力」を分散しないで「力や知恵」を集結し地域づくり、まちづくり、人づくりに努めたいものです。

■ 図書ポイント”としよぼ”の受賞者が決まりました

読書と作文のまちプロジェクトチームでは、町民センター図書室や各学校等施設における本の貸出しにおいて、1冊につき1ポイント（としよぼ）が貯まるシステムをつくり、「読書と作文のまちいまかね」の特色ある活動として幼児から高齢者までが楽しく読書活動に取り組むきっかけづくりとして実施しています。

多くの本を読み、としよぼを集めた方には景品をお渡ししています。令和元年度の結果は以下のとおりです。



(敬称略)

【幼児の部】			【小学生の部】			【一般の部】		
第1位	155冊	柳谷 美沙	第1位	165冊	小林 清慧	第1位	178冊	伊藤 健次
第2位	100冊	岡本 菜々子	第2位	140冊	尾形 祐人	第2位	175冊	村上 裕美
第2位	100冊	早坂 千花	第3位	119冊	藤倉 識	第3位	135冊	小池 重徳
第4位	82冊	中山 未来	第4位	115冊	柳谷 昇汰	第4位	128冊	木村 幸子
第5位	73冊	伊藤 桜生	第5位	102冊	宮崎 凜	第5位	105冊	柴田 好子

■ 今金わくわくカレッジ”イマカレ”

今金町では、子どもたちの土曜・休日の教育環境をより豊かなものにするため、地域の様々な人材・団体の協力のもと土曜・休日に継続的なプログラムを提供する「土曜日の教育活動推進プランモデル事業 今金わくわくカレッジ “イマカレ”」を実施しています。今金小学校・種川小学校・今金中学校の3校の児童生徒を対象とし、外国語活動・スポーツ活動・読書活動などの教育プログラムを通年で実施しています。令和元年度は計7回実施し、小学生は累積4回、中学生は3回の参加で図書カードをプレゼントしています。

今年度は4回達成者が **11名** いました！たくさんのご参加ありがとうございました！

令和2年度も実施いたしますので、小中学生のみなさんはぜひ参加してくださいね♪

(齋藤)



▲ジェルキャンドル体験講座



▲岸田典大さんの絵本パフォーマンス



▲ドリームバスツアー

社会教育委員だより 〈社教委員のつぶやき〉

社会教育委員によるコラムリレーを掲載しています!

〈今金町社会教育委員会〉

委員長	天沼 寧	副委員長	山崎 周一
委員	野本 雅明	委員	米田 昌
委員	刈屋 滋子	委員	久ヶ澤サユミ
委員	池田 誓哉	委員	村瀬 一人

社会教育委員として



委員長 ^{あま}天 ^{ぬま}沼 ^{やすし}寧 (農業)

社会教育委員として、私たちの町で今後どのような活動ができるだろうか、と日々考えているところです。さて、人口減少や少子高齢化の進展、地域コミュニティーの弱体化が進む中、生涯にわたって学び、豊かな暮らしや地域社会の課題解決につなげていくことの重要性が高まっています。こうした時代に、社会教育委員には住民の代弁者として社会教育の在り方を助言するなど、これまで以上にその役割が求められています。本年も「今金ふるさと塾」の事業を中心に、文化事業、こども会事業、体験型事業、成人祭や世代間交流事業など、今金の歴史的探訪、スポーツを交えた様々な工夫を凝らして事業を展開したいと思っております。また、学校・地域・行政・企業や民間と協働して、子どもと大人の学びを通じた地域づくり、人づくりに取り組んでまいりたいと思います。

社会教育は、大人や子どもたちの成長、人と人とのつながり、生きがいややりがいを支え、豊かな生活を送るうえで欠かすことのできない大切な学びだと思えます。今後も町民からのアイデア、やる気を元にゆるく、楽しくまちづくりを進めてまいります。



▲今金ふるさと塾
ゴスペルワークショップの様子

ウィンターキャンプに参加して



委員 ^{むら}村 ^せ瀬 ^{かず}一 ^{ひと}人 (農業)

1月中旬、こども会主催によるウィンターキャンプを行いました。カルタ交流会に始まり、次の日のボールゲームフェスタまでの長い日程でありましたが、百人一首の講師の方にご協力をいただき、大人も子どもたちと一緒に楽しみました。カルタ交流会では、私も熱くなり大人げなく真剣に臨みましたが、子どもたちの札を一枚も取ることができませんでした。

読書と作文のまちプロジェクトチームの皆さまを招いての大型カルタ大会は、新しい体育館のアリーナ全体で行いました。夕食は町の栄養士さんにレシピの協力をいただき、今金牛ハヤシライスといま人気のタピオカジュースを子どもたちとつくり、豪華で楽しい食事会となりました。

たくさんの地域の皆さまと子どもたちがふれあいを持つことで、とても楽しい事業となりました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

最後に、私との勝負に勝った百人一首少年団の子どもたち。檜山大会で見事に優勝を飾りました。おめでとう!!



▲カルタ交流会の様子